

## 第 4 回 富士見市文化芸術振興委員会議事録

日 時	令和 6 年 1 月 1 6 日 (火) 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 0 0						
会 場	富士見市役所 第 1 会議室						
出席者	高野	水野	峠	近藤	山本	多田	秋元
	○	○	×	○	×	○	○
	大沼	谷澤	齊藤	星野	山崎	千葉	池嶋
	○	○	○	○	○	○	×
	事務局：文化・スポーツ振興課 下田課長、高橋副課長、熊、檜岡						
1	開 会						
2	委員長挨拶						
3	議 事						
	(1) 第 2 次富士見市文化芸術振興基本計画案の報告						
	【事務局より計画（案）に基づき説明】						
	・重点施策について説明						
	・計画の指標について説明						
	【意見・質疑】						
	委 員：指標を市民意識調査の「市民文化の創造」の満足度の向上とした理由は。						
	事務局：市民意識調査は、市の行う調査・アンケートの中で最も規模が大きいものであることから選択した。						
	委 員：重点施策とした「障がい者・高齢者・外国籍市民などの文化芸術活動への支援」などの充実が、この項目の満足度向上に繋がるのか懸念がある。						
	事務局：調査の項目は様々あるが、文化芸術に関するものは本項目のみであるため、今回は指標としたいと考えている。						
	委 員：前回調査の際は何パーセントであったのか。						
	事務局：前は 51.7 パーセント、前々回は 46.9 パーセントであったため、徐々に満足度は向上している。						
	委 員：具体的な事業が実現する過程を知りたい。						
	事務局：計画はあくまでも方向性を示すもの。具体的な事業を実施するには、担当課が実施計画を基に提案し、庁内で実施を認められる必要がある。						
	委 員：実施計画が実現したかどうかはどこで知ることができるのか。						
	事務局：ホームページ等で公開されるため誰でも確認することができる。事業の進捗については本委員会でも報告をしていく。						
	委 員：計画で述べている「子ども」とはどこまで含むのか。						
	事務局：中学生、高校生までを考えている。						
	委 員：思春期には文化芸術が大きな役割を持つため、中学生への事業展開が重要と考える。						

委員：中高生をコンサートへ招きたいが、習い事や部活動、塾などで忙しく来られる子が少ない。今の中高生の希望をアンケートとして取るのも良いのではないかと思う。

委員：教職員向けのアウトリーチもよく行われている。児童・生徒に向けて行う内容をまず教職員に体験してもらうもの。文化芸術の講義の良さを実感することができ、アウトリーチ実施へつながる。

委員：学校の年間計画を立てる前にアウトリーチについて相談ができれば良いのではないかと思う。

(2) 次回の会議日程について

日時：3月頃 ※事務局から追って連絡  
パブリックコメントの集計後の開催。

(3) その他

文化・スポーツ振興課主催事業等のお知らせ

4 閉 会